



# \*データベースを使う

## ▽例) LEX/DBインターネットの場合

アクセス方法：**中央図書館HP** → **データベース(学内用)** → **法学**

① 「判例総合検索」を選択。

② キーワードボックスに事件名などを入れます  
事件名、判決の年月日、裁判所などを入力して検索。

③ 判例の全文だけでなく、書誌情報や冊子体の判例集へのリンクがあります。

## ▽法律系のデータベースは他にも多数あります

### 第一法規法情報総合データベース(D1-Law.com)

➢判例・現行法令・改正履歴・文献情報など法律分野の総合データベース。

### LLI統合型法律情報システム \*中央図書館専用端末のみ利用可

➢『最高裁判所判例解説』、『判例タイムズ』他8誌が検索できる。

### 法律文献総合INDEX

➢『法律時報』の巻末に掲載される「文献月報」のデータベース。

データベースの利点は自由な言葉で容易に検索できることですが、使用する用語によって得られる結果が多すぎたり全く検索されなかったりすることがあります。その場合は、検索語を他の言葉に変えてみたり複数のデータベースで検索してみてください。また、最新の判例はデータベースに収録されるまで時間がかかります。最新の判例は裁判所のHPや新聞記事、判例雑誌で確認してください。

## ▽判例が検索できるウェブサイト **中央図書館HP** → **リンク集** → **社会科学** → **判例**

### 裁判所HP

➢最新の判例一覧や判例情報が検索できる。

### 消費者問題の判例集(国民生活センター)

### 検索で困ったときは

- 思うような検索結果が得られないときは複数のデータベースを検索してみる。
- 日常語、特に外来語はヒットしにくい。  
例：コピー→複写 コンピュータ→電子計算機 など言葉をかえて検索してみる。  
\*法律用語事典を参考にする場合などはなるべく新しい版のものを用いる。

**★わからないことがあればお気軽にカウンターへご相談ください。メールでも受け付けています。**